

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価） A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である
---

学校名	上峰町立上峰小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	・学力の向上に向けて、教員の意識・実践は高まっているが、結果としての児童の十分な学力定着には至っていない。学校としての共通した指導の徹底や校内研究の新たな取組視点の設定等を考えていく必要がある。 ・心の教育のために、アンケートによる「いじめ」の早期発見・早期対応に努め、保護者と連携しながら対応を行うことができた。今後は、「不登校」についても早期発見・早期対応に努め、保護者との関わり方についてスキルアップを行う。 ・特別支援教育の充実のために、人材を生かした研修会を実施することにより、教師の意識を改革したり、適切な支援をしていくことにつながった。今後は、配慮を要する児童の保護者との関わり方についてのスキルアップを行う。
------------------	--

2 学校教育目標	心と智恵と技をとぐ上峰っ子の育成
----------	------------------

3 本年度の重点目標	①「学力の向上」に向けて、共通理解・共通実践のもと、日々の授業において授業改善を行う。 ②「いじめの早期発見・早期対応」に向けて、再度いじめの定義を全職員で共通理解し、アンケート・児童観察等をもとに積極的認知・指導に取り組む。「不登校児童」については、学校・家庭・関係機関の連携を軸に支援を進めていく。 ③「気になる子、配慮を要する子」に関する教職員の専門性を高め、チーム上峰として職員全体で共通理解した適切な支援へと繋げる。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイルソンの成果指標を達成した教師の割合80%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3」を周知し、「めあて」「まとめ」「書く活動」「話し合う活動」「振り返り」を意識した授業実践を行う。							
	○ICT活用による個に応じた教育活動の実践	○アンケート「教育活動にICT機器を活用したか」に、肯定的な回答をした教員の割合90%以上。 ○アンケート「学習にICT機器を活用したか」に、肯定的な回答をした児童の割合90%以上	・日々の授業、オンライン学習、「にここ学習」「持ち帰りでデジタル教材の活用」等で1人1台端末を使った教育活動を実践する。							学力向上対策委員会 (副島)
●心の教育	●自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳アンケートにおいて、「なかよし積み木のカードを喜んで書いた」と回答した児童の割合80%以上	・人権集会を年4回実施し、道徳の授業35時間を意図的に仕組む。 ・道徳に関する校内研修等の実施により、道徳における授業づくりを学ぶ。							心をとぐ部会① (北村)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○アンケート「いじめ防止に向けての定義取組、事案対処等について、組織的な対応ができている」に、肯定的な回答をした教員の割合80%以上	・SC,SSWとの連携を図るなど、組織的に指導を行う。 ・いじめへの対応のために、ハイパーQU研修やSC研修を行う。							心をとぐ部会① (北村, 凌)
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○キャリアパスポートの振り返りの点数が25点中20点以上になる児童の割合80%以上 ○アンケート「将来の夢や目標を持っている」に、肯定的な回答をした6年生児童の割合90%以上	・体験活動を充実させ、計画的にキャリアパスポートを活用する。 ・最終学年では、総合的な学習の時間に職業調べ等の学習の充実を図る。							
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	○アンケート「登下校や屋休み、授業以外の運動やスポーツを行う時間を週当たり360分以上」に、肯定的な回答をした5年生児童の割合70%以上 ○行事後のアンケート「～大会には、練習を頑張って取り組めたか」に、肯定的な回答をした児童の割合80%以上	・業間休みや屋休みにおける外遊びの奨励、運動カードの配布による取組の促進を図る。 ・リレー大会・水泳大会・縄跳び大会などの行事を通して、運動への興味関心を高め、運動に親しませる。							心をとぐ部会② (八谷)
	●望ましい生活習慣の形成	○アンケート「早寝、早起き、朝ごはん」を毎日達成できた(21点中19点以上)児童の割合80%以上	・食生活、睡眠等について、栄養教諭とのTTによる授業での啓発を行う。 ・給食だより、保健だより等を通して、「早寝、早起き、朝ごはん」の重要性を保護者児童に説いていく。							心をとぐ部会② (林は, 石戸)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	○教育委員会規則に掲げる、月あたり時間外在校等時間の上限45時間の遵守(95%) ○アンケート「自分の時間を確保し、心身の休養に充てることができた」に、肯定的な回答をした教員の割合80%以上	・月曜日から木曜日は19:00までに施錠、金曜日は17:30までに施錠する。教頭・主幹・指導教諭は、金曜とは別日に、17:30退勤を設定する。 ・心身の休養が着実な業務遂行や事故防止につながることを研修を通して伝えていく。							学年主任会 (教頭)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○「気になる子、配慮を要する子」への支援体制の充実	○教員の専門性と意識の向上	○アンケート「教育相談に関する研修会を行い、個の児童への柔軟な対応力が向上した」に、肯定的な回答をした教員の割合80%以上 ○アンケート「ケース会議などを充実させ、支援が必要な児童に対して組織的に対応できた」に、肯定的な回答をした教員の割合80%以上	・長期休業中の研修会や、月ごとの研修会を通して、配慮を要する子の共通理解を図る。 ・必要に応じてケース会議を実施し、支援が必要な児童の情報を共有し、全ての教員で組織的に対応する。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------